

はねだ けいじ 羽田圭二 7つの政策

「住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けたい」という区民の願いを実現するためには、個々人の状況にあった生活支援が必要です。子ども、現役世代、高齢者、すべての世代に目を向けて、子育てから介護まで一連の生活を後押しする7つの政策を推進します。

2 子育て支援 子育てしやすいまち・世田谷をめざして

都・公有地を活用した認可保育園の増設とともに、就学前教育を含めた教育費の負担軽減を進めます。
●給食費の無償化

3 景気・雇用対策 中小企業・商店街の活性化をめざして

若者・シニア世代の就労支援、入札制度の改革と適正な公契約による地域産業の活性化と安定雇用を求めます。
●事業後継者の育成支援

5 防災 災害に強く、人にやさしいまち世田谷へ

通学路の安全確保、災害時自力では避難できない方への支援、子ども・女性・高齢者・障害者の視点からの避難所の確保。
●要支援者の避難支援と福祉避難所の確保・改善

6 人権 個人を尊重し、弱者や少数者を排除しない社会へ

誰もが尊重され、安心して住み続けられる世田谷を構築するために、「社会的包摂」の視点に立った、政策展開を求めます。
●インクルーシブ教育の実現

1 福祉・社会保障 「世田谷版 社会保障制度」の確立

介護や出産・育児、失業や倒産、疾病やケガ、技能取得や再教育などの理由によって、社会から排除されない支援を強めます。
●介護する人への支援

4 環境 エネルギー政策の転換による原発ゼロ社会へ

公共施設におけるクリーンエネルギーの活用と、住宅の省エネ・エコ化への支援を強め、原発に頼らない社会の確立をめざします。
●区民への自然エネルギー供給の推進

7 情報公開・住民参加 住民参加の新たな仕組みの確立

区民参加の仕組みを拡充し、地域の多様な意見を認め合い、住民自らが判断・決定する機会をさらに広げます。
●計画段階からの区民参加

保坂展人区長とともに実現した取り組み

- ▶ **待機児童解消に向けた認可保育園の増設**
野毛公園、国土交通省等々力宿舎跡地など国・都・区有地を活用した保育園建設を推進。
- ▶ **高齢者・障がい者・子ども・若者を含めた地域包括ケアシステムの導入**
あらゆる世代を支える仕組み確立に向けて相談体制を合区展開。
- ▶ **医療的ケアが必要な児童の保育園・学校での居場所づくり**
保育園・小学校への看護師の配置、学校支援員の増員。



- ▶ 災害対策総点検
- ▶ 中高生世代の居場所づくり
- ▶ 梅丘病院跡地利用
- ▶ 平和資料館の建設
- ▶ 子ども人権擁護のしくみ
- ▶ 若者就労支援センター
- ▶ 公契約条例の制定

など

羽田圭二は、2011年の保坂区政誕生後は、高校時代の同窓生でもある保坂展人区長とともに政策を実現してきました。



「住み慣れた地域で暮らし続けたい」。これは、多くの区民の願いです。介護や子育て、病気やケガ、技能取得や再教育の際に仕事から離れなくてもすむよう、また、倒産や解雇などによって一旦仕事から離れても再び就労の場に戻れるよう、すべての世代を支える仕組みを確立することが急務です。次世代を担う子どもたち、現役世代と高齢者世代が互いに手を取り合いながら暮らせる、よりよいまち世田谷をめざします。

言語や文化の違い、多様な意見を認め合う社会をつくり、平和な社会・平穏な生活を脅かす政治にストップをかけなければなりません。

貧困や格差を広げる政治から、排除しない政治へ。誰もが安心して働き暮らせる社会をつくるために、羽田圭二は、2019年4月の区議会議員選挙に挑みます。

1951年12月7日第3種郵便物認可

社会新報

THE SHAKAI SHIMPO

発行所 社会民主党全国連合機関紙宣伝局 週刊(水曜日発行)
〒104-0043 東京都中央区浜3-18-17 マルキ樓本ビル5階 電話代表03(355)3787・接線00140・1-3203
●定価180円●1ヵ月700円●送料160円

2019年 冬季号外 羽田圭二のせたがやレポート